

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 03-265018
 (43)Date of publication of application : 26.11.1991

(51)Int.Cl. G06F 1/26
 H04L 29/00

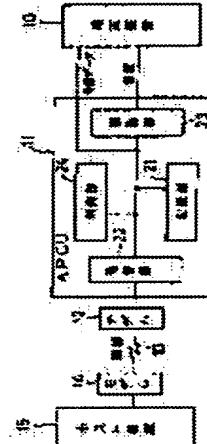
(21)Application number : 02-064605 (71)Applicant : FUJITSU LTD
 (22)Date of filing : 15.03.1990 (72)Inventor : INABA SEIJI
 KANEKO YUICHI
 ASANO MASABUMI

(54) AUTOMATIC POWER SUPPLY CONTROLLER

(57)Abstract:

PURPOSE: To save labor for changing terminal setting by providing a control part to change a power supply control parameter stored by the command of a host device.

CONSTITUTION: When a host device 15 outputs the parameter setting command, the power supply control parameter set to a memory part 21 is changed by a control part 24. This control part 24 executes time control as well and when the current time comes to time for turning on/off timer power, a driving part 23 is controlled to turn on/off the power source of a terminal equipment 10. Thus, the set of the parameter can be changed without turning on the power source of the device and the labor for changing the terminal setting can be saved.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A) 平3-265018

⑬ Int. Cl. 5

G 06 F 1/26
H 04 L 29/00

識別記号

序内整理番号

⑭ 公開 平成3年(1991)11月26日

7832-5B G 06 F 1/00 3 3 4 P
8948-5K H 04 L 13/00 T

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 自動電源制御装置

⑯ 特 願 平2-64605

⑰ 出 願 平2(1990)3月15日

⑱ 発明者 稲葉誠司 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社
内

⑲ 発明者 金子裕一 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社
内

⑳ 発明者 浅野正文 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社
内

㉑ 出願人 富士通株式会社 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

㉒ 代理人 弁理士伊東忠彦 外2名

明細書

該する自動電源制御装置。

1. 発明の名称

自動電源制御装置

3. 発明の詳細な説明

(摘要)

端末装置のパワーオン・パワーオフの制御を行なう自動電源制御装置に關し、

ホスト装置からのコマンドで電源制御のパラメータを端末装置の電源を入れずに設定変更でき、設定変更の手間が少なくて済むことを目的とし、

回線によりホスト装置と交信する通信部と、電源制御パラメータを記憶する記憶部と、端末装置の電源を投入又は切断する駆動部と、ホスト装置からパワーオン・オフのコマンドを供給されたとき、及び現在時刻が該電源制御パラメータとして設定された時刻となったとき該駆動部(23)に電源投入又は切断を指示し、かつホスト装置(15)から電源制御パラメータの変更を指示するパラメータ変更コマンドを供給されたとき該記憶部(21)の電源制御パラメータを変更する制御部(24)とを有することを特

2. 特許請求の範囲

回線(13)によりホスト装置(15)と交信する通信部(22)と、

電源制御パラメータを記憶する記憶部(21)と、

端末装置(10)の電源を投入又は切断する駆動部(23)と、

ホスト装置(15)からパワーオン・オフのコマンドを供給されたとき、及び現在時刻が該電源制御パラメータとして設定された時刻となったとき該駆動部(23)に電源投入又は切断を指示し、かつホスト装置(15)から電源制御パラメータの変更を指示するパラメータ変更コマンドを供給されたとき該記憶部(21)の電源制御パラメータを変更する制御部(24)とを有することを特

(産業上の利用分野)

本発明は自動電源制御装置に関し、端末装置のパワーオン・パワーオフの制御を行なう自動電源制御装置に関する。

(従来の技術)

従来から回線を通じてホスト装置に接続された複数の端末装置に自動電源制御装置(APCU)を取り付け、APCUでホスト装置からのコマンドにより端末装置のパワーオン・オフし、また内蔵タイマが設定時刻となったとき端末装置のパワーオン・オフすることが行なわれている。

(発明が解決しようとする課題)

従来のAPCUはホスト装置からのコマンドで端末装置のパワーオン・オフを行なっている。しかし、APCUのタイマパワーオン・オフの設定時刻等の電源制御のパラメータは端末装置を用いて設定変更していた。つまり電源制御のパラメータは端末装置の電源をオンしないと設定変更する

パラメータを変更する制御部とを有する。

(作用)

本発明においては、ホスト装置がパラメータ設定コマンドを出すと、制御部によって記憶部に設定された電源制御パラメータが変更され、電源制御パラメータを変更するために端末装置の電源を投入する必要がなく、端末装置が多数存在しても電源制御パラメータの設定変更の手間が少なくて済む。

(実施例)

第1図は本発明方式の一実施例のブロック図を示す。

同図中、端末装置10はAPCU11に接続され、APCU11はモデム12、回線13、モデム14を介してホスト装置15に接続されている。

ホスト装置15は端末装置10の電源投入を指示するパワーオンコマンド、電源遮断を指示するパワーオフコマンド、タイマパワーオンの設定時刻

特開平3-265018(2)

ことができず、複数の端末装置の電源制御のパラメータを設定変更する場合には手間がかかるという問題があった。

本発明は上記の点に鑑みなされたもので、ホスト装置からのコマンドで電源制御のパラメータを端末装置の電源を入れずに設定変更でき、設定変更の手間が少なくて済む自動電源制御装置を提供することを目的とする。

(課題を解決するための手段)

本発明の自動電源制御装置は、回線によりホスト装置と交信する通信部と、電源制御パラメータを記憶する記憶部と、端末装置の電源を投入又は切断する駆動部と、

ホスト装置からパワーオン・オフのコマンドを供給されたとき、及び現在時刻が電源制御パラメータとして設定された時刻となったとき駆動部に電源投入又は切断を指示し、かつホスト装置から電源制御パラメータの変更を指示するパラメータ変更コマンドを供給されたとき記憶部の電源制御

又はタイマパワーオフの設定時刻等の電源制御のパラメータの変更を指示するパラメータ変更コマンドを回線13を介してAPCU11に送出する。

APCU11は電源投入切断制御のパラメータを保持する記憶部21と、回線13によりホスト装置15と交信する通信部22と、パラメータにより端末装置10の電源を投入切断する駆動部23と、前記各部を制御する制御部24により構成される。

通信部22は常時ホスト装置15よりの信号を持ち続け、信号を受信すると制御部24に通知する。

第2図は制御部24の実行する処理のフローチャートを示す。制御部24は通信部22よりの信号着信の通知の有無を判別し(ステップ30)、信号着信があると、ホスト装置15よりの信号がパワーオン又はパワーオフのコマンドかどうかを判別する(ステップ31)。

パワーオン・オフのコマンドの場合にはこのコマンドに従って駆動部24に端末装置10の電源

を投入又は遮断させ(ステップ32)、ステップ30に戻る。パワーオン・オフのコマンドでない場合には上記ホスト装置15よりの信号がバラメータ変更コマンドかどうかを判別し(ステップ33)、バラメータ変更コマンドであればこのバラメータ変更コマンドに従って記憶部34に格納されているタイマパワーオン又はタイマパワーオフ夫々の時刻等のバラメータを変更し(ステップ34)、ステップ30に戻る。バラメータ変更コマンドでなければ該信号の着信とみなすステップ30に戻る。

勿論、制御部24は上記処理とは別に時間管理を行なっており、現在時間がタイマパワーオン・オフの時刻となったとき駆動部23を制御して端末装置10の電源投入又は遮断を行なう。

このように、ホスト装置15がバラメータ設定コマンドを出すと、制御部24によって記憶部21に設定された電源制御バラメータが変更され、電源制御バラメータを変更するために端末装置10の電源を投入する必要がなく、端末装置10

15はホスト装置、
21は記憶部、
22は通信部、
23は制御部、
24は駆動部を示す。

特許出願人 富士通株式会社

代理人 弁理士 伊東宏彦

同 弁理士 松浦兼行

同 弁理士 片山修平

特開平3-265018 (3)

が多段存在しても電源制御バラメータの設定変更の手間が少なくて済む。

(発明の効果)

上述の如く、本発明の自動電源制御装置によれば、

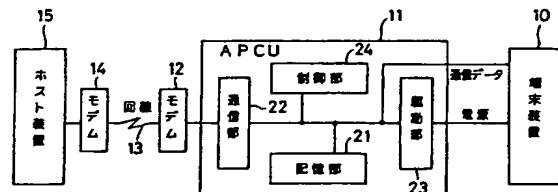
ホスト装置からのコマンドで電源制御のバラメータを装置の電源を入れずに設定変更でき、端末設定変更の手間が少なくて済み、実用上きわめて有用である。

4. 図面の簡単な説明

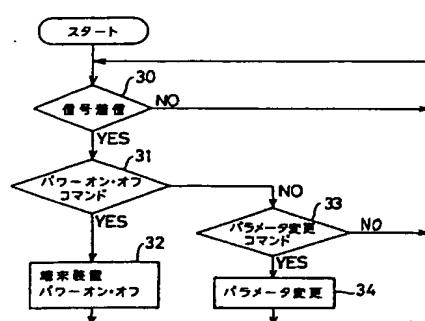
第1図は本発明装置の一実施例のブロック図、第2図は制御部の実行する処理のフローチャートである。

図において、

10は端末装置、
12、14はモデム、
13は回線、



本発明装置のブロック図
第1図



制御部の実行する処理のフローチャート
第2図